

# 交通弱者対策について

林 昌子 議員

**質問** 平成20年より導入されたデマンド型やまゆりタクシー運行のより利用しやすい交通手段の検討を求め、

村長2期目の選挙用チラシの「今後、運行可能範囲の拡大を推進していく」について、村長の構想を伺います。また、以前の答弁で、

村の地域公共交通会議で合意され、国の運輸支局に申請、登録が必要、検討したなどの説明後1年3カ月が経過し、どのように推移しているのか。重ねて見解をお尋ねいたします。

1. やまゆりタクシー利用者へのアンケート調査はどのような意味のものか。  
2. 近隣コミュニティバスとの連携の検討は。  
3. 近隣タクシー業者との提携をどこまで推進しているのか。

るのか。

4. 委託業者との契約期間の見直しはされているか。  
5. 住民サービスの向上に対する村長の構想は。

**答弁（村長）** 1. 利用者のニーズを図り、アンケートにより、改善を図ろうとする趣旨、デマンドは今後なくさないでいく。

2. 陸運事務所の部分もあり、規制緩和がされれば、可能となるであろう。  
3. デマンド認可を取らないとデマンドに参加できない部分がある。よってタクシー業者との話し合いは持っています。

4. デマンド事業は、最低でも5年を目標にということがあり、現在見直しを図っています。

5. 利用者の観点に立つて、県外も含め、どんな運行をしているのか、調査、吟味し、今よりは良くならないと意味がありませんので、そこを選択肢にして考えていきます。

**質問** アンケート調査は、デマンド交通継続の見直しであるという答弁をいただきました。それでは、更には、更に

1. 当日予約の導入。  
2. 運行時間の延長。  
3. 土・日曜日の対応。  
4. 近隣首長との連携による法改正、規制緩和の陳情。これに関しては、規制緩和の陳情ができるかどうか。

**答弁（村長）** アンケート結果から読み取れるように、当日予約、運行時間、土日運行等、利用者の利便性を、もつともつと拡大していくのが、やっぱり利用者の声だと思います。検討余地の項目もあり、民間のタク

シー業者とか、事業に対する圧迫にもなる時間延長等の件もあります。そもそも、規制の枠が取り払えれば、可能になってくるだろうと思える部分もあります。

とにかく、そういうことを踏まえて、デマンドの継続、近隣での運営方法も含めて、美浦村に合った、美浦村の利用者のニーズに合った部分を選択肢として、考えていきたいと思っております。

そういう意味でも、早めに近隣の経費の部分も調査できると思いますので、検討材料とさせていただきます。と思います。

**質問** ホームページでのデマンド方式の啓発活動を、わかりやすくお願いします。

**答弁（総務部長）** ホームページの更新は、継続的に、データは福祉介護課と協議します。